

豊後大野市立緒方中学校 【ICT活用の実際、共感的な人間関係の場、自立した学習者の育成】

1. ICT活用の実際



2年 国語科⇒1人1台端末の活用

2. 共感的な人間関係の場



1年 体育科

3. 自立した学習者の育成

単元「論理を扱って」		豊後大野市立緒方中学校		2年 国語	
単元目標		視点を特出し、読解力を高める			
読解	①本文を読み、全体像をつかむ。	○	○	○	○
読解	②本文を読み、本筋・筋路に分ける。	○	○	○	○
読解	③問いに答へ、筋路の関係を整理する。	○	○	○	○
読解	④筋路の展開を吟味する。	○	○	○	○
読解	⑤社会生活の中から討論のテーマを決め、情報を集める。	○	○	○	○
討論	⑥自分の立場を述べ、根拠を挙げ、反論の考えを考へる。	○	○	○	○
討論	⑦人の立場や考えを尊重しながら、討論する。	○	○	○	○

2年 国語科「学習カード」

視点を設けた
振り返りの記入

ワークシートに「振り返り」

- 2年の国語科では、人の立場や考えを尊重しながら討論する授業において班ごとの討論の場面で根拠に基づいた考えを1人1台端末を活用して、友だちと討論を展開していました。指導者が討論を録画したり、振り返りの場面では、各自で記入した振り返りの内容を大型テレビで共有していました。
- 1年の体育科では、バスケットの授業において授業の終末に本時の活動について「まとめ」「振り返り」を行っていました。各グループの代表が発表を行い、発表内容を他の生徒がしっかり受け止めている共感的な人間関係の場が見られました。
- 『自立した学習者の育成』については、2年の国語科では、「学習カード」の活用が見られました。単元を通しての「めあて」に対する「振り返り」ができるシートになっています。また、本時の振り返りには、ワークシートに「振り返り」ができるスペースが位置づけられていました。